

発売中! 季刊「日本のうたごえ」NO. 185

「憲法9条をまもり活かす」
うたごえのさらなる飛躍をめざす年に

核兵器のない世界の扉を開こう No.185の読みどころ

1 核兵器のない世界の扉をひらこう

被爆 75 年・2020 年 NPT を展望して

安井正和 (日本原水協事務局長)

世界で数億筆のヒバクシャ国際署名で、核兵器禁止条約の発効へ。大きな意味を持つ 2020 年。来年 5 月の NPT 再検討会議に向けて、今年 8 月の原水爆禁止世界大会の成功。そして、次の運動を展望する寄稿。

2 ぞうれっしゃが走って 70 年、 子どもの幸せと平和を願い

走りつづける「ぞうれっしゃ」

合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」絵本原作の小出隆司さんが、「ぞうれっしゃ」の持つ今日的な意味を説き明かす。作曲者の藤村さんは「ぞう…」初演から 33 年の教訓を寄稿。

3 指揮・合唱指導者講習会 パネルディスカッション

全国合唱発表会でも注目の 4 合唱団 (関西合唱団・名古屋青年合唱団・三多摩青年合唱団・神戸市役所センター合唱団)。その音楽づくり、普段の練習は? 松本の講習会・理論講座で詳しく語ってもらいました。選曲の仕方。団運営。皆さんの悩み、その解決へのヒントがありますよ。来年もやる予定です。ぜひ、6 月は松本へ。

4 京都祭典・座談会

京都祭典まで後 4 ヶ月。音楽づくりに、チケット普及にフル回転の京都。祭典を準備していく中で、今年も生まれているドラマの数々。そして、今年の祭典はコンサートホール。行ってみようと思う座談会。

歌い手登録と、ホテルの確保を急いで!

5 組織活動者・うたごえ新聞読者拡大会議 基調報告とまとめ

田中嘉治 (日本のうたごえ全国協議会会長)

5 月の会議で、「今の時代に“うたごえ”が求められていることと期待。夢を持とう。源泉は『うたごえは生きる力』」と題して語られた基調報告とまとめ。話の中に出てくる文献を読んでみたいという方はご連絡下さい。

毎回好評の“連載”と“楽譜”

連載

石黒真知子さん (詩人) “でたとこ勝負” (ポエム&エッセイ)。今回のポエムは「空っぽの図書館」。栗山文昭さん (合唱指揮者) の“音楽の樹から”。今回は Tokyo Cantat を中心に。合唱の魅力が伝わってきます。

楽譜紹介

合唱組曲「一滴のうた」より 第 4 章「広島旅行」

(作詞: 上田假奈代 作曲: 安広真理)

FAX 番号 03-3200-0193

購読申込書 (いずれかにチェックを)

定期購読

ばら

【取り扱い団体】

お名前:

所属:

ご住所: 〒

電話:

E-mail

@